

シンポジウム

『建物の火害診断および補修・補強方法 指針・同解説』 の改定に向けて

主催：日本建築学会 防火委員会 火害診断補修小委員会

後援（予定）：日本損害保険鑑定人協会、土木学会、日本損害保険協会、日本火災学会、日本建築構造技術者協会、日本建設業連合会、建材試験センター、日本建築総合試験所、ベターリビング

日時：2019年11月28日（木）13:30～16:30

会場：建築会館会議室（東京都港区芝 5-26-20）

2015年に『建物の火害診断および補修・補強方法 指針・同解説』を発刊した後、指針の使用状況や要望などを収集するために2016年にシンポジウムを開催し、小委員会の活動の方向性について意見交換を行った。今回、次期の指針改定のイメージ（方針）を見極める際に有用となる情報を、指針の使用者やその他の多方面の技術者から収集し、そのイメージを共有することを目的としてシンポジウムを開催することとした。

本シンポジウムでは、小委員会で検討した指針の改定イメージに基づいて活動している傘下WGの取組みの中から、特に、①最新の加熱冷却後の材料の機械的性質、②最近の文献調査結果、③新たな調査方法と現在の調査方法の課題などに加え、④火災による構造部材の性状についてプレゼンを行った上で、聴講者の意見や要望などを集約することとしたい。

<プログラム（予定）>

1. 主題解説 司会：宮本圭一（鹿島建設）
 - ①小委員会の紹介と指針改定のイメージ 大橋宏和（竹中工務店）
 - ②鋼系の調査結果および改定に向けた検討項目の紹介 [鋼系WG] 近藤史朗（清水建設）
 - ③コンクリート系の改定方針と最近の研究動向 [コンクリート系WG]
黒岩秀介（大成建設）・阪口明弘（ハウスプラス確認検査）
ラウファード モハマド マーディ（大成建設）・大和征良（日本ヒルティ）
 - ④既存の調査方法とその課題～最新の研究事例を踏まえて～ [コンクリート調査方法WG]
内田慎哉（富山県立大学）・吉田夏樹（日本建築総合試験所）・新大軌（島根大学）
 - ⑤構造材料の耐火性ガイドブックの紹介 [構造材料耐火性小委員会]
梅本宗宏（戸田建設）
2. パネルディスカッション（フロアからの質疑・要望・意見集約） コーディネーター：山崎順二（浅沼組）
パネラー：主題解説者から5名程度
3. まとめ 池田憲一（東京理科大学）
記録：高橋晃一郎（大林組）・梶田秀幸（前田建設工業）

参加費：会員3,000円、後援団体会員3,500円、会員外4,000円、学生1,000円（資料代含む、当日会場でお支払いください）
定員：60名（申込み先着順）

申込方法：本会Webサイト「催し物・公募」一覧よりお申し込みください。

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=625040>

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 中村亮輔

TEL 03-3456-2057 E-mail: nakamura@aij.or.jp